

事例②



■ 諏訪地方の企業20社が中心

■ MOUの締結

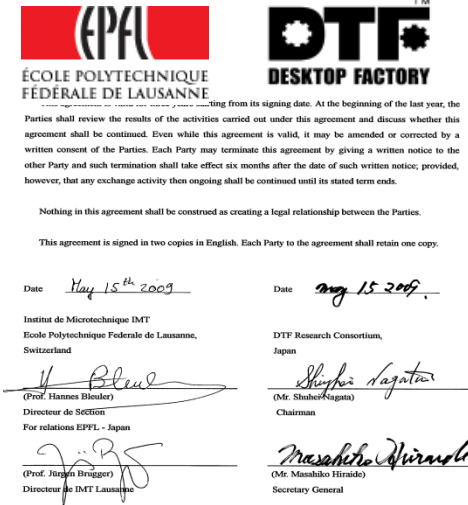
- * スイスEPFL(ローザンヌ工科大学)
- * フランス(オートサボア県)

■ 商談

- * 商談成立 8件
- * 商談継続 50件以上

■ 販売拠点構築

- * ドイツ 1社(推進中)
- * フランス 1社(検討中)

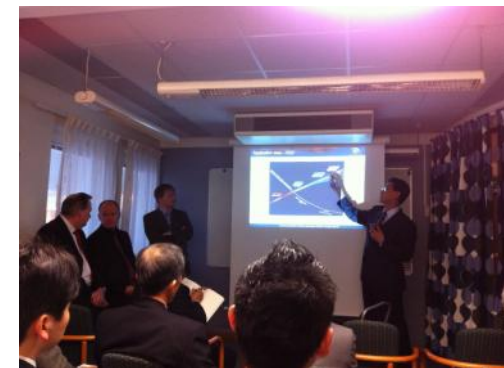


DTF欧州販路開拓ミッション



2011.01.31-02.13

● In Sweden





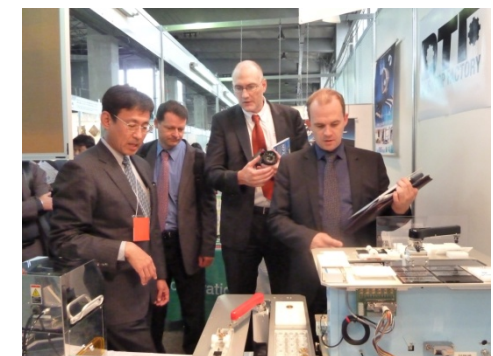
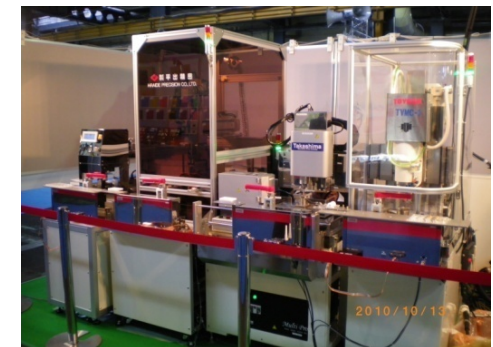
■最近の国際事業展開

* 北米(アナハイム)ミッション派遣(24.2.12~19)

- ・MD & M (Medical Design & Manufacturing) 出展
- ・現地企業・機関やカリフォルニア大学アーバイン校との技術交流・商談

■今後の課題

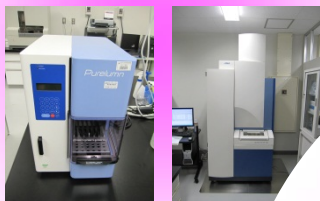
- * 欧州海外アフターケア体制構築(仕組みづくり)
- * DTFの国際的ブランド化
- * MOU締結後の活動展開
- * 国の海外支援策の継続的活用



長野県における、医療機器や健康産業を核にしたライフ・イノベーション推進体制

長野県、信州大学、長野県経営者協会、八十二銀行、長野県テクノ財団が連名で提案した「次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点（長野県全域）」構想が、文部科学省、経済産業省、農林水産省から、全国の上位9地域の一つとして、地域イノベーション戦略推進地域（国際競争力強化地域）に指定された（平成23年8月）

JST地域産学官共同研究拠点整備事業
「信州メディカルシーズ育成拠点」
26種類の医学的解析機器を整備・共用化
(平成22年3月)



経済産業省「技術の橋渡し」拠点整備事業
「信州地域技術メディカル展開センター」
信州大学医学部・附属病院に隣接して医工連携研究棟を建設
(平成23年7月)



信州大学医学部・附属病院
松本地域を中心に

文部科学省
「地域イノベーション戦略支援プログラム」
医工連携人材やコーディネータを育成
(平成23～27年度)

経済産業省「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」
個別の医療機器開発プロジェクトを支援
(平成22～23年度 3件)

文部科学省運営費交付金
特別経費（プロジェクト分）
「信州メディカルシーズ研究開発
促進プロジェクト」
医学系を中心とするリサーチ・
アドミニストレータを雇用・育成
(平成23～27年度)

さらに今後、以下等の大型事業申請を予定
◆内閣府：総合特区「プラチナイノベーション」構想（松本市が提案）

信州メディカル産業振興会 (Shinshu Medical Industry Association)

信州メディカル産業振興会の構成

会長：キッセイ薬品工業 神澤 陸雄 代表取締役社長
副会長：セイコーエプソン 花岡 清二 取締役会長

会員：131 (平成24年4月1日現在)
企業88社、大学等教育機関8校、
医療・福祉機関2施設、行政機関14機関、
金融機関6行、個人会員13名

事務局：信州大学産学官連携推進本部



平成22年5月設立

事業活動：信州メディカルシーズ育成拠点と連携した活動

・ 医療従事者からのニーズとのマッチング交流会	・ 信州大学医学部附属病院見学会
・ 会員企業等の間での情報交換と相互連携	・ 先端研究者・技術者による講演会
・ 薬事法や保険収載等に関する勉強会	・ 展示会等への共同出展

